

白新線の記念碑について

この記念碑は現在、豊栄駅南口の正面左側に建っています。

現在ではあつて当たり前の電車ですが、その昔「ここに鉄道を！」と切に願い、多くの方々が尽力されたと聞いております。明治30年に話がおこり、計画は進んでは消えの連続。木崎を走らせる計画もあったそうですが、最終的には葛塚の現在の場所に決まり、昭和27年12月ようやく一部開通の日を迎える事ができ、町はちょうちん行列の祝賀一色。ちょうちん行列は平成18年の(橋上化)豊栄駅完成の時にもやったので御記憶の方もありませんでしょうか。

この碑を建てたのは実家の祖父吉田光一でありまして、私の子供の頃は自宅の庭にありました。

自身も陳情やら様々な活動をし、悲願叶って開通の喜びのあまり、『歡天喜地(かんでんきち)』とするし(この揮毫は祖父の書の師である春洋先生です)、自宅庭に記念碑を建てたのでした。自営はんこやの60年続いた店の名を「可芳堂」から「白新堂」と変えたほどでした。裏には自身の名と工事をした当社三代目齋藤義雄の名を刻んでいます。2人ともとうに亡くなっていますが、思いと歴史は石に託され残っています。

碑のそばには新潟市北区郷土博物館の設置した説明板も立っています。興味のおありの方、ぜひ見てやって下さい。【齋藤 美代子】



表面: 歡天喜地

裏面: 昭和廿七年十二月廿三日

白新線開通記念 吉田光一 石匠 齋藤義雄



白新線開通を祝うちょうちん行列
(昭和27年12月)

暮らしに石を(4)

想いそのままに姿を変えて、 再び出会うぬくもりの品

当社にお問い合わせいただく中で、今あるお墓が古くなったので建て替えたい、又は様々なご事情でやむを得ず改葬(墓じまい)をしたいというご相談があります。

工事をを行い、ご供養をされて、完了。となるのですが、ご施主様が今まで大事に守ってきた、いつもお参りしていた思い入れのある古墓を見て、石屋としてもっと寄り添える事はないかと考え、大きなお墓を小さなお地蔵様に変身させて、手元に置ける様に致しました。

(別の変身も今後検討していきたいと思っております。)

【小林 絵里子】



小さなお地蔵様
幅60mm×奥行45mm
×高さ150mm



床の間、お仏壇、居間などに
飾ってみませんか?

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。急に陽気になったかと思えば、または冬に戻った様な天気になってみたり...今年の春は少し不思議でした。桜も早くに咲き誇り、花見をする間もなく散ってしまいました。もう少し風情と言う物を味わいに積極的に出かけた頃です。

次号は7月頃の発行予定です。ではまた。【齋藤 勇介】

このニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見・ご要望はこちらまでお願いします。

お届け先の変更や、ニュースレター送付不要の際もお知らせいただければ幸いです。(担当: 齋藤 勇介)

(有) 齋藤石材店

〒950-3321 新潟市北区葛塚4804 Tel:025-386-3491 Fax:025-386-3493

E-mail:saitougs@beach.ocn.ne.jp ホームページ:http://www.saitougs.com/